

11月号 平成27年10月30日発行

# 荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



Can't do から Can do へ

校長 澤田 有子



ラグビーワールドカップでの日本チームの戦いぶりを観て、心に大きな感動や高揚感を覚えた人はたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。1次リーグでの日本対南アフリカ戦について英国のブックメーカー、ウィリアムヒルは、日本勝利の倍率は34倍、南アフリカ勝利の倍率は1倍であり、南アフリカの勝利を「確定的」と分析していました。

しかしながら、日本チームは前半7分に五郎丸選手がペナルティーゴール(PG)を決めて先制し、10-12と競い合って折り返したのです。最後のプレーをPGではなくトライを狙うためにスクラムを選択した時には、スタンドの観客と一緒に思わず「ウオー」と叫んでしまった人もいらっしゃるのではないのでしょうか。PGを選択し、決めることができたならば、強豪南アフリカに対して引き分けに持ち込むことができます。しかし、日本チームは平均体重で約7kgも上回る相手チームに対してスクラムを選び、引き分けではなく、勝つためにボールをつないでトライをめざしました。ヘッドコーチの指示は、PGでしたが、リーチ主将をはじめ全員がトライを狙うことで気持ちは一致していたそうです。フィジカル面でもメンタル面でも決して負けなかった日本チームは、南アフリカに対して初めて勝利しました。2003年大会の優勝監督クライブ・ウッドワード氏は「あの場面でPGを狙わなかったのは、Wカップ史に残る最高の選択」と、コメントしています。

さて、この日本チームを四年間率いたエディー・ジョーンズHCは、ラグビーに限らず日本選手が陥りがちな「体が小さいから」「農耕民族だから」という”言い訳”で戦う前から自分たちを分相応な『粹』にはめてしまう Can't do(できない) のメンタリティーを Can do(できる) に変えていこうと試みたそうです。そして、フィジカルを徹底的に鍛えることで、メンタルの部分でも負けない土台を作り上げていきました。

これを学校に置き換えてみると、フィジカル＝基礎・基本の学力 メンタル＝自己に対する自信 と考えることができるかもしれません。これからも Can do のメンタリティーを育てていきたいと考えます。



本の修理をして下さっている図書館ボランティアの皆様。ショーウィンドーや壁面に素敵な飾りも作って下さっています。



歴史博物館学芸員による出前授業の様子です。4年生が吉田新田についてたくさんのお話を教えていただきました。